

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもコミュニティルーム たいよう		公表日 2025年2月25日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		学習スペース・運動スペースを分けている。運動スペースの床面を2色に色分けし、視覚にて確認できるようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		各学校の下校時間を確認の上、効率よく送迎対応にあたるよう、予定を組み立てている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		運動スペースと学習スペースを分けている。双方のスペース床に畳を敷き、転倒時のけが予防への配慮を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		日々の危険箇所点検、清掃にてこどもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	・個別の部屋はないが、必要に応じてパーティションなどで環境を整える。 ・個別ではないがパーティションで仕切り環境を状況に応じ作っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		普段のミーティングにおいて、情報共有を図っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			保護者評価表内容を受け、スタッフ間で話し合いの場を設け、改善に努めていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		普段のミーティングにおいて、情報共有を図っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		今後必要性を含め、検討課題とする。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		研修受講には積極的に参加できる勤務環境に努めている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		令和6年度中に支援プログラムを作成し、ホームページにて公表の準備を進めている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		モニタリング後の担当者会議において、スタッフからの意見を含めた計画書作成を実施している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		担当者会議での話し合いにて本計画内容の確認を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		児童の様子については、情報シートを作成し、共有を図っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		必要に応じたサポート内容を設定しているが、成長過程における変化に対して日々のミーティングにて共有を図っている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
				こどもたちが楽しい時間を過せるよう、スタッフ間で話し合いを行い、プログラムの立		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		プログラムを固定化せず、工夫に努めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個々の特性について理解を深め、個別・集団活動を組み合わせたサポートを実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		ミーティングにおいて、当日の利用予定児童の確認、サポート体制の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	情報シートへの記入作業の際、スタッフ間で児童の様子、サポート内容の振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6ヶ月毎にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		基本活動を組み合わせ、サポートを進めている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		プログラムを固定化せず、こどもたちが選択できる環境づくりに努めている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		代表社員・管理者・児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		行政との連携を密に取り、サポート体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		行事予定表を確認し、下校時間の変更があれば、当日の午前中に連絡確認を取っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		児童発達支援事業所との間で情報共有を図り、継続的なサポートに努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	1	対象児童ががまだいない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			児童発達支援センター主催の研修等があれば、積極的に参加し、意見交換を図っていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		地域の公園等にお出かけをした際、公園内で交流する機会はあるが、今後、交流が図れる企画等を考える。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		開催時間帯を確認し、参加できる会議には参加している。	協議会開催時間が児童対応時間と重なった際は、安全面の管理を優先し、児童対応を優先している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		利用中の出来事に関しては連絡ノート、公式LINE、お迎えのタイミング、送迎対応時を活用し、情報共有を図っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		今後、イベント開催等を企画し、交流機会を設けていけるよう努める。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		利用契約時に契約書・重要事項説明書にて説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		本人が抱える課題、親御さんからのニーズをできる限り盛り込んだ個別支援計画書作成に努め、説明をした上で、サインをいただいている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		計画書内容を説明した上で署名をいただいている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		親御さんからの相談ごとに対して、傾聴し、できる範囲での助言に努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	2		今後、父母の会活動への支援、保護者の交流機会を企画するよう、努めていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		利用契約時に契約書・重要事項説明書内にて説明をしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1		2025年4月から随時更新を進めていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の取扱いには十分留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		連絡ノート、公式LINEを活用し、意思疎通、情報伝達を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2		今後、イベント開催等を企画し、交流機会を設けていけるように努める。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアル作成、想定訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		BCP内容を検討しながら策定中。 今年度末までに計画内容をまとめる。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時、アセスメントシートを作成。 服薬状況、てんかん、アレルギー症状等の確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		医療的ケア児に対する医師の維持書、アセスメントシートに記載があったアレルギー症状に関して、対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		日々、危険箇所点検を行い、安全管理に努めている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		体調不良時の緊急連絡、警報発令時の対応等、家族への周知を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ミーティングの中でヒヤリハット事例の検証、再発防止に向けた話し合いを実施している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		社外研修への参加。社内伝達講習にて適切な対応を心がけている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		利用契約時に契約書・重要事項説明書内にて説明をしている。	今後作成する計画書内への記載を進めていく。	